

教科名	国語	科目	国語演習	週授業時間	2時間
-----	----	----	------	-------	-----

### 1. 教科書および副教材・参考書

教科書：「新しい国語 2」（東京書籍）

副教材：「新しい国語 新出漢字の学習 2」（東京書籍）

：「国語の学習 2」（東京書籍）

：「国語便覧 千葉県版（デジタル版）」（浜島書店）※1年次に配付済

問題集：「つまづかない！文法の学習」（新学社） ※1年次に配付済

：「錬成テキスト 中2国語」（育伸社）

### 2. 授業の目標および内容

日常なにげなく使っている言葉にもいろいろな法則があることを学習します。

加えて、「話す・聞く」「書く」を中心とした様々な言語活動を行い、人との関わりの中で伝え合う力を高めます。

### 3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月

#### ※内容・難易度について

①定期試験：教科書・副教材・問題集・プリントなどで、問題を作成します。

### 4. 課題・補習について

必要に応じて課題を出したり、補習をおこなったりします。

### 5. 評価の視点

定期試験を元に、小テスト、提出物、言語活動の取り組みなどを参考に平常点として、加点または減点して評価をします。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<p>①②書写</p> <p>①類義語・対義語</p> <p>①話し言葉と書き言葉</p> <p>①形の似た漢字</p> <p>②敬語</p> <p>②他教科で学ぶ漢字(1)</p>	<p>○1学期のみ週1時間「書写」の授業を行う。文字の成り立ちと移り変わりについて知り、文字文化への関心を高める。また、今年度は新しく行書の書き方を学ぶ。</p> <p>○類義関係・対義関係の語句に着目し、その対比によって語句の使い分けについての理解を図る。</p> <p>○話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、適切に使い分けられるようにする。</p> <p>○形の似た漢字の違いに着目し、正しく使い分けられるようにする。</p> <p>○敬語の働きや使い方について理解し、話や文章の中で適切に使用できるようにする。</p> <p>○他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>*教科書の漢字を中心に小テストを実施する。</p> <p>*適宜小テストを実施し、口語文法の習熟を促す。</p>
2	<p>③用言の活用</p> <p>③漢字の意味</p> <p>③根拠を吟味して書こう(意見文)</p> <p>③助詞</p> <p>④ビブリオバトル</p> <p>④同訓異字</p>	<p>○用言(動詞・形容詞・形容動詞)のそれぞれの特徴を再確認し、活用についての正しい知識を身につける。</p> <p>○漢字の意味を理解して、漢字を文や文章の中で使う。</p> <p>○自分の考えが伝わる文章になるよう、根拠の適切さについて吟味し、文章の構成を工夫しながら分かりやすく説得力のある意見文を書く。</p> <p>○助詞の働きについて理解し、正しく使えるようにする。</p> <p>○愛読書の理解を深め、他者に紹介する準備を進める。話す内容や順序を整理し、聞き手にとってわかりやすく説得力のある構成を考え、実践する。</p> <p>○同訓異字について理解し、話や文章の中で適切に使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p>	<p>*教科書の漢字を中心に小テストを実施する。</p> <p>*適宜小テストを実施し、口語文法の習熟を促す。</p>
3	<p>⑤依頼状やお礼状を書こう</p> <p>⑤助動詞</p> <p>⑤同音異義語</p> <p>⑤他教科で学ぶ漢字(2)</p>	<p>○読み手を意識して、的確な表現になるように文章を推敲する。</p> <p>○助動詞の働きについて理解し、正しく使えるようにする。</p> <p>○同音異義語について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>○他教科で学ぶ語句に用いられる漢字について理解し、漢字を文や文章の中で使う。</p>	<p>*教科書の漢字を中心に小テストを実施する。</p> <p>*適宜小テストを実施し、口語文法の習熟を促す。</p>

